

〈育てたい子供像〉
 きれいな心の子
 大きな夢もつ子
 笑顔いっぱいの子

たかせの子



令和7年1月31日

<保護者アンケートの結果をお知らせします>

12月に実施しました「学校運営についてのアンケート」には、約92%の保護者の皆様よりご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。アンケートの結果並びに考察をご報告いたします。

【集計結果】

【1】：5つの項目について

A（よくあてはまる） B（ややあてはまる） C（ややあてはまらない） D（あてはまらない）



	内 容	A	B	C	D	R6(A+B)
1	学校は運営方針を分かりやすく伝えている。 ・たかせ小ガイド・ホームページ・各種だより・安全メール 等	53.1%	40.1%	5.1%	1.7%	93.2 %
2	学校は望ましい生活習慣について指導している。 ・チャレンジ3015・早寝・生活調べ・歯みがきタイム・手洗いタイム 等	48.6%	46.3%	1.7%	3.4%	94.9 %
3	学校は子供たちの温かい人間関係づくりに努めている。 ・異学年交流縦割り活動・担任とのふれあい週間・あいさつ運動 等	57.1%	37.3%	0.6%	5.1%	90.4 %
4	学校は学習しやすい環境づくりや望ましい学習習慣の定着に努めている。 ・家庭学習の推進 ・教室や廊下の掲示板の活用 等	46.9%	44.6%	6.8%	1.7%	91.4 %
5	学校は分かりやすい授業を通して基礎・基本を定着させ、学力を高めようとしている。 ・作文タイム・校外学習や各種体験活動の実施・学習課題の明示・ICT機器の活用 等	48.6%	42.9%	7.9%	0.6%	91.5 %

◆「1 学校は運営方針を分かりやすく伝えている」

AとBの合計は93.2%でした。学校運営方針は年度初めに「たかせ小ガイド」に明記して配付し、PTA 総会の場をお借りして説明をしています。今年度のPTA 総会の参加率は74%でした。直接保護者の皆様に学校運営方針について説明できる貴重な機会ですので、来年度も是非ご参加いただけると幸いです。また、ホームページの学校紹介の欄にも載せてありますのでご覧ください。

学校の教育目標を達成するための具体的な教育活動については、各種おたより、ホームページでお知らせしています。学校だよりは学校全体の動きや行事等から、学年だよりにはそれぞれの学年の活動の中から児童の様子や成長が分かるように写真や感想、作品を交えて伝えるようにしました。ホームページは、学校行事をはじめ、各学年の様子をタイムリーにお

届けできるように毎日の更新を心がけました。記事の見出しの下にはその活動がどの教育目標につながっているかも書かれてありますので、運営方針の参考にいただければと思います。（写真はカラーでご覧いただくことができます）

今年度から黒部市の小中学校がコミュニティースクールになったことを機に、一層学校と家庭、地域のつながりを強くして、学校運営にどんどん参加していただきたいと思っています。学校行事をコミュニティ・スクール（地域とともにある学校づくり）の視点から見直し、コロナ禍を経てなくなっていた夏休み作品展や給食試食会を行いました。

また、3学期から家庭科や図工で学習ボランティアの呼びかけを行い、ご都合がつく地域のボランティア委員や保護者、祖父母の方々にご協力をいただいています。短時間で安全に効率よく学習を進めることができ、来てくださった方も「楽しかった」という思いをもっていただくことができ、どちらにとってもよい時間となっています。今後も子供たちにとって学校が人との関わりを通した「生きる力を育む場」となるよう、よりよい方法を検討して取り組んでいこうと考えております

教育・安全情報メールでは、子供たちの安全・安心な生活の確保を第一に発信の内容やタイミングを考慮し、「開封確認付きメール」等、迅速な情報発信やそのやり取りの効果的な活用に努めます。

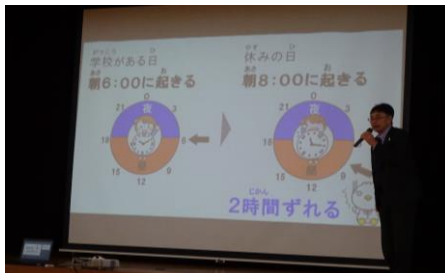
◆「2 学校は望ましい生活習慣について指導している」

AとBの合計は 94.9%でした。今年度は望ましい生活習慣の形成に向け、特に以下の3つのことを大切にして取り組んできました。

- ①毎日の「手洗いタイム」や「歯みがきタイム」、低学年を対象とした「手洗い教室（講師：新川厚生センター職員）」の実施
- ②年間を通した体力づくりとして富山県教育委員会から出されている「みんなでチャレンジ 3015」を進めています。今年度たかせ小学校では健康につながる「望ましい姿勢」を意識して過ごすこともチャレンジする取組として加え、生活の中で実践し、点数化しながら取り組んでいます。
- ③学校保健委員会では出前授業「睡眠講話」（睡眠健康指導士による講話）を実施しました。睡眠の大切さについて参加型の講話で楽しみながら理解を深めました。アンケートで「十分な眠りが取れていない」と感じている児童が多い実態もありますので、ご家庭でもよりよい睡眠時間の確保をお願いいたします。



新川厚生センターによる「手洗い指導」



睡眠健康指導士の出前講話



学校保健委員会に参加された保護者の皆様

《自由記述から》

- ・子供から休み時間に他の学年ともサッカーをして楽しいと聴くので、とてもいい。
- ・トイレ休憩や昼食時間が短いと思う。「食べないと」と思う気持ちが食育のテーマとずれている気がする。
- ・運動場の遊具が少ない。のびのび身体を動かせる環境の整備をしてほしいと感じる。
- ・早寝・生活調べについて、子供たちが正確な回答をされているかどうか気になる。保護者の方に週末に調査をお願いされた方がいいのではと思った。

体力の向上や健康の保持という面で考えて進めていくようにしておりますが、いただいたご意見を参考にしながら見直しをして、今まで以上に一人一人の様子に目をかけて対応していきたいと思います。特に生活習慣は保護者の皆様との連携が重要になってきますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

◆「3 学校は子供たちの温かい人間関係づくりに努めている」

AとBの合計は90.4%でした。挨拶運動やあったか言葉の推進など温かい人間関係づくりについて継続した取組を大切にしているところです。さらに今年度より金曜日の朝活動の時間に「あったかタイム」を設け、対人関係ゲームを行っています。この活動では集団の関係性の中で自分を理解して「折り合いをつけること」「協力すること」「心を通わすこと」の力を高めたいと考えています。子供たちは、ゲームを楽しみながら成長してきています。

また、月一回火曜日の5限に実施している児童集会（フレンドリー集会）では、時間の後半に6色リレーや大縄跳びの縦割りグループを生かした交流活動の場を設けています。ボール渡しやペットボトルリレー、しりとり等を通して、ゴールできたことに「やったー」と歓声を上げる姿が見られました。互いにつながり合うことを楽しむ姿に異学年交流で生まれた温かい人間関係を感じました。



じゃんけんリレー



しりとりリレー



ペットボトルリレー

《自由記述から》

・休み時間に他学年の子とも遊ぶことがあると聞くので、違った学年の子と触れ合う機会があるのはとてもよいと思う。

縦割り活動（6色リレー、大縄跳び、縦割り掃除、集団登校、ランチルームでの給食班など）は本校の大きな特徴です。縦割り活動を通した子供同士の温かい関わりをよい伝統として受け継ぎ、今後も温かい人間関係づくりや異学年交流の充実に取り組んでいきます。

◆「4 学校は学習しやすい環境づくりや望ましい学習習慣の定着に努めている」

AとBの合計は91.4%でした。一人一台端末を活用した学習には、ずいぶん慣れ、子供たちは様々な機能を使いこなしています。互いの意見交換などもタブレット端末を活用して共有する場も増えてきました。

今年度、高学年の算数科では、試行的に取り入れられているデジタル教科書を活用しています。子供たちの実態や場面に応じて、紙の教科書と併用して使用するようにしています。デジタル教科書は、画面上で計算したりメモを残したりすることが容易で、面積を求める場面では、図形を移動して形の変化を実際に試すなど、何度も簡単に試行錯誤できます。自分の力に応じていろいろな考え方ができることに楽しみを見だし、集中して取り組む姿が見られました。友達のやり方を画面上で共有して、容易に試すこともできるので、様々なやり方で繰り返し取り組んでいます。



【写真】ドームのおよその面積を求める学習
(6年算数より)

《自由記述から》

- ・教科書を紙から電子化してほしい。
- ・宿題に新聞を取り入れていただき文章を読む力や世界情勢、ニュースに興味をもつようになり感謝しています。
- ・家庭学習の時間が少ない。中学校でもとめられる課題の量を思うと不安になる。
- ・中・高では記述力が求められ、パワーアップノートに日記など書いてみるように促すがなかなか取り入れてもらえない。先生から宿題として出してほしい。
- ・パワーアップノートを宿題にしてほしい。

教科書につきましては、それぞれの市町村での採択となりますので、今年度試行で使っているデジタル教科書のよさや課題が集約され、検討していくことになると思います。

教員からの課題の出し方や声かけ、賞賛がいかに子供のやる気を促すかを改めて感じています。パワーアップノート（自主学習ノート）の意義や学年に見合った学習内容や量について見直し、望ましい学習習慣の定着、自ら課題を見付け解決しようとする力の育成に努めていきます。

◆「5 学校は分かりやすい授業を通して基礎・基本を定着させ、学力を高めようとしている」
AとBの合計は91.5%でした。子供たちが分かりやすいと実感し、それを生きる力としていくためには体験活動が重要だと考えています。今年度は以下のような活動がありました。

- ・公民館や駐在所、あおーよ等の地域の施設への見学、調べ学習（1年、2年、3年）
- ・おかし遊び（1年）野菜や植物の栽培（1、2年生）
- ・牧場、スーパーマーケットの見学や富山湾の魚ゲームの取組（3年）
- ・上下水道施設、ごみ処理施設、十二貫野用水見学等（4年）
- ・地元で活躍する人を外部講師として招いた「自分の生き方や将来の夢」について考えるふるさとキャリア教育（5・6年）

上記の体験活動に、地域との関わりや外部の人材を積極的に取り入れながら進めてきました。家庭科のミシンや図工の彫刻の学習でも地域の方や保護者の方に入らせていただいていることで、子供たちは意欲的に取り組み、体験から学ぶ友達や地域の方々との関わり大切さを実感しており、感謝しております。



ふるさとキャリア教育（6年）より

記述力を高める取組として、昨年度に引き続き火曜日の朝の活動に「作文タイム」を取り入れています。子供の取組の様子をみて、活動を見直しながら継続していきます。

e-ラーニングでは、授業のすき間の時間を活用し、取り組んでいます。学級や学年の実態に応じて担任から意図的に課題を出し、時間を決めて集中して取り組む場を設定したり、その成果を担任がその場で把握するシステムを活用し、一人一人の取組に応じて賞賛したり新たな課題を出したりして活用の工夫も進めているところです。

《自由記述から》

- ・いつも温かくご指導いただきありがとうございます。
- ・学習発表会があるとうれしい。

今後も子供の学習意欲が高まるような学習の場や体験活動の充実に努め、基礎・基本の定着と学力を高める授業改善に取り組んでいきます。

「子供一人一人にとって笑顔いっぱいの安心して学べる学校」となるよう、皆様のご意見をいただきながら改善に努め、一緒によりよい学校づくりをしていけたらと思っております。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。